太田市文化施設条例施行規則をここに公布する。

令和7年3月31日

太田市長 清 水 聖 義

太田市規則第48号

太田市文化施設条例施行規則

(趣旨)

第1条 この規則は、太田市文化施設条例(平成17年太田市条例第 141号。以下「条例」という。)第18条の規定に基づき、太田市 文化施設(以下「会館」という。)の管理運営に関し必要な事項を定 めるものとする。

(開館時間)

第2条 会館の開館時間は、午前9時から午後10時までの時間とする。ただし、市長が特に必要と認めるときは、これを変更することができる。

(休館日)

- 第3条 会館の休館日は、次のとおりとする。
 - (1) 月曜日(その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第 178号)に規定する休日(以下「休日」という。)に当たる場合 は、その日後においてその日に最も近い休日でない日)
 - (2) 12月29日から翌年1月3日まで
- 2 前項の規定にかかわらず、市長が特に必要と認めるときは、臨時に休館し、又は開館することができる。

(利用許可の申請)

第4条 条例第4条第1項の規定により利用の許可を受けようとする

者(以下「申請者」という。)は、別表第1に定めるところにより文 化施設利用許可申請書(様式第1号)を市長に提出しなければなら ない。

2 前項の規定にかかわらず、市長は、必要と認めるときは、同項の 申請期間を変更することができる。

(利用の許可)

第5条 市長は、前条の規定による申請があった場合において、会館 の利用を許可するときは、文化施設利用許可書(様式第2号)を申 請者に交付するものとする。

(利用期間の制限)

第6条 会館の利用期間は、同一利用者が同一目的で別表第2に定める期日を超えて利用することができない。ただし、市長が特に必要と認めるときは、この限りでない。

(利用の変更又は取消し等)

- 第7条 条例第4条第1項の規定による許可を受けた者(以下「利用者」という。)は、次の各号のいずれかの利用の変更をしようとするときは、文化施設利用変更許可申請書(様式第3号)に文化施設利用許可書を添えて、市長に提出しなければならない。
 - (1) 利用の取消しをしようとするとき。
 - (2) 利用時間を延長し、又は繰り上げて利用するとき。
 - (3) 施設及び附属設備を追加利用するとき。
 - (4) 特別の設備又は器具等を使用しようとするとき。
- 2 市長は、前項各号の利用の変更を許可したときは、文化施設利用 変更許可書(様式第4号)を利用者に交付するものとする。
- 3 第1項第2号に定める利用時間の延長又は繰上げは、1時間を限度とする。
- 4 利用者は、第1項第2号及び第3号の許可を受けたときは、直ちに当該許可に係る使用料を納付しなければならない。

(使用料の減免)

- 第8条 条例第11条の規定により使用料を減額し、又は免除する場合は、次の各号のいずれかに該当する場合とし、減額し、又は免除する額は、当該各号に定める割合を乗じて得た額とする。ただし、第1号に該当する以外の利用者が入場料等これに類する料金を徴収する場合は、この限りでない。
 - (1) 市、太田市教育委員会(以下「教育委員会」という。)等が主催 又は共催で利用するとき。 100分の100
 - (2) 市内の保育園、幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校又は特別支援学校の長が、児童又は生徒の保育活動又は教育活動に利用するとき。 100分の100
 - (3) 市内の大学の長が学生の教育活動に利用するとき。 100分 の50
 - (4) 市内の社会教育関係団体又は文化協会及びその所属団体が社 会教育活動、文化活動等に利用するとき。 100分の50
 - (5) 市内の社会福祉関係団体が社会福祉活動等に利用するとき。 100分の50
 - (6) その他市長が適当と認めるとき。 市長が認める割合
- 2 前項の規定による減免を受けようとする者は、文化施設使用料減 免申請書(様式第5号)を市長に提出しなければならない。 (遵守事項)
- 第9条 利用者又は入場者は、条例に定めるもののほか、次に掲げる 事項を守らなければならない。
 - (1) 火災その他の事故の発生の防止に留意すること。
 - (2) 所定の場所以外で飲食、喫煙及び火気の使用をしないこと。
 - (3) 許可を受けないで壁、柱等にはり紙、くぎ打ち等をしないこと。
 - (4) その他管理上必要な指示に反する行為をしないこと。 (利用方法の打合せ)

第10条 利用者は、事前に利用施設等の利用方法その他必要な事項 について職員と打合せをしなければならない。

(会場責任者)

- 第11条 利用者は、利用に係る施設における秩序を維持するために 必要な会場責任者を定め、必要な整理員を置かなければならない。 (職員の立入り)
- 第12条 市長は、会館の管理のために必要があると認めるときは、 利用中の施設に職員を立ち入らせることができる。この場合におい て、利用者は、これを拒むことができない。

(破損等の届出)

- 第13条 利用者は、会館の施設等を破損し、又は滅失したときは、 直ちにその旨を市長に届け出て、その指示を受けなければならない。 (利用後の点検)
- 第14条 利用者は、条例第12条の規定による原状回復の措置をしたときは、その旨を市長に報告し、点検を受けなければならない。 (指定管理者に管理を行わせる場合の規定の適用)
- 第15条 条例第15条第1項の規定により同項に規定する指定管理者に管理を行わせる場合における第2条、第3条第2項、第4条から第6条まで、第7条第1項及び第2項並びに第12条から前条までの規定の適用については、第2条中「市長が特に必要と認めるときは」とあるのは「指定管理者は、特に必要があると認めるときは、あらかじめ市長の承認を受け」と、第3条第2項中「市長が特に必要と認めるときは」とあるのは「指定管理者は、特に必要があると認めるときは」とあるのは「指定管理者は、特に必要があると認めるときは、あらかじめ市長の承認を受け」と、第4条から第6条まで、第7条第1項及び第2項並びに第12条から前条までの規定中「市長」とあるのは「指定管理者」とする。

(その他)

第16条 この規則の施行に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附則

(施行期日)

- 1 この規則は、令和7年4月1日から施行する。 (経過措置)
- 2 この規則の施行の際現に効力を有する教育委員会が行った処分その他の行為又は現に教育委員会に対してされた申請その他の行為で、この規則の施行の日以後において市長が管理し、及び執行することとなる事務に係るものは、この規則の施行の日以後においては、市長が行った処分その他の行為又は市長に対してされた申請その他の行為とみなす。

別表第1 (第4条関係)

(1) 太田市民会館

施設区分	申請期間
ホール・ホールと同時利	利用しようとする日(以下「利用日」
用の施設及び附属設備	という。)の12月前の月の初日から
スタジオ(利用目的が公	利用日の1月前まで
演等である場合に限	
る。)・スタジオと同時利	
用の施設及び附属設備	
スタジオ(利用目的が公	利用日の6月前の月の初日から利用
演等である場合を除	日の前日まで
く。)・多目的室1・多目的	
室2・会議室及び附属設	
備	

(2) 太田市新田文化会館

施設区分	申請期間
ホール及び附属設備	利用日の12月前の月の初日から利
	用日の1月前まで
多目的室・楽屋・展示スペ	利用日の6月前の月の初日から利用
ース及び附属設備	日の前日まで

会議室及び附属設備	利用日の6月前の月の初日から利用
	日の前日まで

(3) 太田市藪塚本町文化ホール

施設区分	申請期間
ホール	利用日の12月前の月の初日から利
	用日の1月前まで
リハーサル室	利用日の6月前の月の初日から利用
	日の前日まで
その他の施設	利用日の6月前の月の初日から利用
	日の前日まで

別表第2(第6条関係)

会館名		利用期間	
太田市民会館	ホール	同一利用者·同一	6 日
		目的で利用	
	ホール以	展示以外で同一	6 日
	外	利用者·同一目的	
		で利用	
		展示を目的に利	12日
		用	
太田市新田文化会館	展示以外で	で同一利用者・同	6 日
	一目的で利	训用	
	展示を目的	かに利用	12日
太田市藪塚本町文化ホ	展示以外で	で同一利用者・同	6 日
ール	一目的で利	利用	
	展示を目的	りに利用	12日

			文化	匕施	設利用評	〒可!	申請書	ŧ					
(p+ 14-)											年	月	日
(宛先)				Ē	申請者	自	Ė	所					
				,	L BH, FI	<u> </u>		名					
l							 (表者:	•					
1						1		話					
İ				설	会場責任者	新 日	ā	名					
						킡	Ī	話					
	文化坊	を設を利用した	たいので	、太I	田市文化加	施設	条例施	行規	則第4億	条の規定	定に基づ	づき申詞	清いた
します。	1.L=												
利用文化	施設					1					Π		
行 事	名				内 容						来場予	定者数	数 人
利用年月日	利	利用施設	利	川用時	間区分		入	場料	(会費)	等の有	無	使月	用料
					後 □夜間			最高	高額(円))		
					延長□後延月	툿 	口無	Ħ-		ш)			
					後 □夜間 延長□後延!	Ē.	□無	取問	高額(円))		
					<u> </u>	~		最高	高額(円))		
					延長□後延長	旻	□無		() d				
					後 □夜間 延長□後延!	≓	□有□無	最高	寄額(円))		
					<u> </u>	X		最高	<u></u> 寄額(円))		
			□全日	□前發	延長□後延上	長	□無						
					後 □夜間	≕	口有	最高	寄額(円))		
				山丽幼	延長□後延士	文	□無				-		
附属設	備利用	の有無	□有 □無					施	設使用料	治計			
備考													
,,,, o													
		け記入し、□の け付けの時間も					小 印を	と付け	トてくだ	さい。			
∠ 'F ##	1、1女月	1.1 () ヘンh4.1目) よ		111/ ← ⊏	コム4しより	0							

			文化	公施設利用	目許可	書					
								年		月	日
申請者	住	所									
	団体	上 名									
	代表者	氏名		様							
次のとおり をいたします		を 設の利用に	ついて、太田	日市文化施設	設条例	施行規則第	55条の規定	官に基づ	き利	用の記	午可
利用文化	施設										
行 事	名			内容				来場	予定		
利用年月日	禾	·····································	利用	時間区分		入場料	(会費) 等の	り有無	包		+
			□午前 □⁴	F後 □夜間		□有 最高	寄額(円)			
			□全日□前	前延長□後延	長	□無					
			口午前 口台		E		寄額(円)			
				が延長□後延 <u>.</u> 「後 □夜間	長	□無□有・最高	 	円)			
				前延長□後延	長		1111只 (1 1/			
			□午前 □⁴				寄額(円)			
			□全日□前	前延長□後延:	長	□無					
			1	F後 □夜間	_	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	寄額(円)			
				が延長□後延	長		学生 (ш)			
			-	F後 □夜間 前延長□後延:	長	□有 最高	高額(円)			
附属設	備利用	の有無	□有□無	, jeze jeze.			设使用料合計	+			
備考											

			文化施設利用変更許可	丁申請書					
							年	月	日
(宛	先)								
			申請者	住	所				
				団 体	• •				
				代表者氏					
				電	話				
			会場責任者	氏	名				
				電	話				
	:のとおり文化 請いたします		いて、太田市文化施設条	例施行規則	則第7条	:の規定に	基づき	:利用の	変更
変	更 区 分	□利用の取消 □施設・附属記		時間の延					
利用	月文化施設								
禾	川用年月日	利用施設	利用時間区分	入場	料(会費	貴) 等の を	有無	使用	料
変			□午前 □午後 □夜間 □全日 □前延長□後延長	□有□無	最高額	(P	円)		
更前			□午前 □午後 □夜間 □全日 □前延長□後延長		最高額	(P	円)		
			□午前 □午後 □夜間	□有	最高額	(P	9)		
変更			□全日 □前延長□後延長	□無					
後			□午前 □午後 □夜間 □全日 □前延長□後延長	□有□無	最高額	(P	月)		
禾	 用年月日	追	加利用附属設備		量	単位	Ĺ	使用	料
4	川用年月日	性別の	設備・器具等の名称	*/	量	単位	i		
· · · · ·	ул Т Л µ	147010	以佣 稻兴守"7747	奴	(里			/	
		<u> </u>		変更す	前施設使月	 用料		<u>/</u>	
					後施設使用				
				追加附	付属設備位				
						分使用料合	計		
注			Dある欄は、該当する箇所 S利用時間に含まれます。	に ノ 印を作	付けてく	ださい。			
			Γ						

			文化施設利用変更許可	書		
					年	月 日
申請	者 住	所				
	寸	体 名				
	代表	長者氏名	様			
	のとおり文化 可いたしまっ		ついて、太田市文化施設条例	施行規則第7多	条の規定に基づ	き利用の変更
		□利用の取消	し □利用時	間の延長・繰	 上げ	
変	更 区 分	□施設・附属語	設備の追加 □特別の	設備・器具等の	の使用	
利用	文化施設					
利	川年月日	利用施設	利用時間区分	入場料(会	費)等の有無	使用料
ale			□午前 □午後 □夜間	□有 最高額	円)	
変更			□全日 □前延長□後延長	□無		
天 前			□午前 □午後 □夜間	□有 最高額	円)	
נינו			□全日 □前延長□後延長	□無		
変			□午前 □午後 □夜間	□有 最高額	円)	
更			□全日□前延長□後延長	□無		
後			□午前 □午後 □夜間 □全日 □前延長□後延長	□有 最高額 □無	円)	
£ı		、台)), (+-	14. 田利
不!	川年月日	担	加利用附属設備	数量	単位	使用料
利	用年月日	特別の	設備・器具等の名称	数量	単位	
				変更前施設使		
				変更後施設使		
				追加附属設備	使用料	
				変更による増額	5分使用料合計	

		文化施設	使用料源	或免申	請書						
(1. H.) 1								年	月]	日
(宛先)太田	市長	-	=+: + y	/2.	_						
		甲	請者	·							
					体 /						
				電	支者氏/ =	石 話					
		△	:場責任者	_		iii 名					
		X	场貝江伯	電		括					
次のとおり 免を申請いた	文化施設の使用につ します。	いて、太田市	文化施設	_			条の規定に	こ基づき	、使用	割料の	減
利用文化施設	設 □太田市民会館	□太田市第	新田文化	会館	口太	大田市	藪塚本町プ	文化ホー	ルル		
行 事 ′	名		内 容					来場予	定者数	数 人	
減免理;	□規則第8条第 校又は特別支持 □規則第8条第 □規則第8条第 育活動、文化注 □規則第8条第 5割減額 □規則第8条第	爱学校が保育? 3号(市内の? 4号(市内の花 舌動等で利用) 5号(市内のな	活動又は 大学が教 社会教育 社会教育 と も も も は 会 を は 会 を は と も さ さ さ さ さ れ に さ れ に も に も に も に る は と る に る に る に る に る に る に る に る に る に る	教育活動 育活動 関係団 咸額 関係団	動で利用	川用) 目) は文化は 比会福祉	全額免除 5割減額 協会及びそ	会の所属で利用)			•
利用年月日	利用施設	利用時	謂区分		使	用料	減多	免額		免後 用料	
			後 □夜間 延長□後延								
		□午前 □午行	後 □夜間								
		□全日 □前数 □午前 □午後	延長□後延金 □ 夜間	長							
			延長□後延	長							
利用年月日	利用附属設備	数量	単	位	使	用料	減免	色額		免後 用料	
					rit 田·	 料合計					
						何合訂 額合計					
							 料合計				
注 1 太枠	内だけ記入し、□のは	ある欄は、該当	当する箇月	所に ノ	印を付	けけて	ください。	I			

2 準備、後片付けの時間も利用時間に含まれます。

受付	係			課長